

コ 5 ク 9 ロー 6 サン 3 ハート通信

VOL. 99

竹原運輸株式会社

発行日 令和3年1月15日

★事務所スタッフからの一言



皆様、日頃は格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

昨年は、皆様方には格別のご愛顧賜りましたことを心から感謝申し上げます。新しい年を迎えまして、弊社はさらにお役に立てる会社を目指して邁進する所存ですので、よろしくお願い致します。

竹原運輸の企業理念

安心、安全の仲間創り

昨年の11月にこの方針をお伝えしました。

具体的にやることはシンプルに

「目の前で困っている人がいたら助けよう」

お客様、社員、家族、友人などだけでなく、目の前で困っている人を助ける余裕があれば助けをあげて、安心、安全の仲間を創って生きたいと考えました。

こんな社会だからこそ、この理念が幸せになるための大事な行動の一步ではないか？

そんな思いで今年も、皆さんの役に立つ竹原運輸で在りたい、と思います。

編集長

専務 竹原 和行

年 頭 所 感

新年 明けましてお目出とうございます。

今月 14 日に当社は 会社設立 50 周年 を迎えました。

当社が設立 50 周年を迎えるに至ったのは、ひとえに皆様のお陰でございます。

書面ではございますが、改めて皆様に衷心より御礼申し上げます。有難う御座いました。

この 50 年間で培ったものを基盤とし、更に会社を生生発展させ、真に皆様のお役に立てる

よう、時代に求められる社会的使命を全うしつつ、法令順守で頑張っ参りたいと存じます。

今年は「おかげさまで、設立 50 周年」の年でもありますので、特に会社内では

『感謝』を合言葉に、会社運営を進めて行く所存です。

「すべてのもの、すべてのこと、すべての人に感謝できる一人ひとりであること」

を目指した「人づくり、仲間づくり」を重点に、今年は取り組んで参ります。

又、当社に対する物流サービス上で、皆様にご満足頂けない点等ございましたら、何なり

とお申し付け頂ければ幸いです。

今年一年間、日々「安心、安全の物流」を皆様にご提供させていただきます。

どうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。



社長 竹原正和

「ジンライムをショットでこの兄ちゃんに飲ませてやってや」兄ちゃんとは私のことです。今から30年ほど前のことですが。

夜の店で働いていた私。スナックやバーから出前の注文があると、から揚げ、焼き魚等を持って行きました。今はウーバーイーツ（驚）。お届けしたお店の客からよくおごっていただきました。「なんて美味いんや。ジンライムっていうんか」田舎者の私にとってキレイな色をしていて口当たりの良いお酒にたちまちその魅力に引き込まれました。当時、ショットで300円か400円くらいだったと思います。

「いつか自分のお金でジンライムを酔って倒れるまで飲んでやる」と思っていたのです。

そしてその「いつか」が来てジンライムを飲んでみると…。どうも味がおかしい…。どの店で飲んでもピンとこない…。原因がわかりました。私が引き込まれたジンライムはライムシロップを使っていたようです。バーテンに「シロップで割ってや」と注文すると、「当店は本物のライムを搾っております。シロップはおいてございません。」ですと。

私にとって本物のジンライムはシロップなんですけど。と数年前にガッカリしたまま私の中の本物のジンライムには出会ってありません。

本物って実は一つではなく人の思いや感情でいくつにでも変化するものなのかなと考えた次第です。真実は一つなんでしょうけど。

福井は3年ぶりの大雪で集荷、配達に遅れが生じご迷惑をおかけしております。様々なご意見、ご指導、ご対応を賜り有難う御座います。乗務員はお預かりしたお荷物と一緒に真心と信用をもお届けしております。自宅の除雪は後回しにしてお待ちしておりますお客様にと。早め早めに出発し懸命に努力しております。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

立場や状況で色んな考え方がありますように、ちょっとしたピントのズレで言い合いになったりすることもありますね。

私が本物のジンライムに再会できないように（笑）

本年も変わらぬご愛顧を賜りますよう宜しくお願いいたします。



一般貨物部

部門長 池上則和

あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

さて、今年の干支は辛丑（かのとうし）ですね！ 丑年には一体どんな意味があるのでしょうか？ 「丑」と言えば動物の「牛」を思い浮かべる人も多いと思いますが、牛は今では酪農などで活躍していますが、昔は農業では欠かせない重要な家畜とされていました。人々の根本となる農業を手助けしてくれるため、大変貴重な存在です。農業をしっかり手伝ってくれる様子から「牛」ともされている「丑年」は「粘り強さ」や「堅実さ」、「誠実さ」を表す年と言われています。

また、このような意味から「丑年の人はしっかりした人が多い」といわれることが多いのです。

ここまで来るのに長かったですが、今年私は何回目かの年男で、それを言いたかっただけです！

今年、当社は設立 50 周年の節目の年を迎え、『安心・安全の仲間づくり』を目指していくとともに、自分自身も節目の年を迎え、公私ともに今まで出来ていなかったことを、やり遂げる 1 年にしたいと思っております。

本年もどうか宜しくお願い致します。



取締役

統括部長 大橋 哲夫

新年、あけましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりありがとうございました。本年も宜しくお願い致します。

今年は3年前に匹敵するような災害級の大雪が降り、大渋滞が発生しました。

そんな中でもほっこりするような出来事があり、疲労から救われました。



重機を使つての排雪（除雪等で山になった雪を排除する）作業で私の家の前をしてもらう時に、家族総出で玄関前の雪を道路にスコップで出していました。目の前まで重機が来て道路に出せなくなる少し前に隣の家ではお婆ちゃんが一人で運んでいるのが見えた時に、私と子供2人でお節介に行きました。

すぐにご近所の私と同年代も同じ想いだったので自分の作業の手を止めて手伝いに来てくれました。きれいさっぱりにはいきませんでした。重機が来るギリギリまで協力して、その後各自が自宅に戻り作業を続けていました。

緊急を要する事態ではないのにそれぞれで自発的に応援が必要と判断し、出来る事をしているのは紛れもなく、無償の愛がそこにあると実感できました。

LPガス部

部門長 辻川 伸吾

皆さん、あけましておめでとうございます。コロナウイルスの影響で外出する機会が少なくなり、運動する量も以前と比べて少なくなったのではないのでしょうか。そんな中体調管理、健康管理にも気を配っていかねばなりません。

食事をする際に食べ方の工夫をするだけでも健康に気を付けることもできます。

GI値というのがありまして、これは食後の血糖値の上昇率を示す値で食品が体内で糖に変わり血糖値が上昇するスピードを示す値の事です。

ブドウ糖を摂取した時の血糖値上昇率を100として各食品で数値を算出しています。GI値の低い食品の場合は血糖値の上昇もゆるやかになり糖を処理するためのインスリンも分泌しすぎることはありません。しかし高GI値の食品を食べて血糖値が一気に上昇すると血液中に多量のインスリンが分泌されたり分泌が追い付かなくなったりします。また、正常な血とう糖値から一気に140以上になる血糖値の急上昇は血糖値スパイクと呼ばれ、これが起こる回数が多いほど肥満になりやすかったり、糖尿病や動脈硬化などのリスクが上がったりすることが分かってきています。砂糖、白米やパン、果物など糖質が多い食品はGI値が高く空腹時に一気に取ると血糖値スパイクが起こります。食事の際はGI値の低い野菜や海藻類を先に食べるなどの工夫をすると急激に血糖値が上がる事を避け全体のGIの軽減にもつながります。健康の為にもカロリーだけでなくGIも参考にすると良いかもしれません。



整備部 谷口学

新年あけましておめでとうございます。

今年の初詣は、人混みで密にならないように、午前中の時間帯を避け午後に出かけましたが、人出はいつもと同じぐらいでした。

コロナ禍の禍が意味する災いには、災いを転じて福となすなどの言葉もあります。

新型コロナウイルスによる感染拡大は、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、新型コロナウイルスによってもたらされた災いについても、働き方や暮らし方をうまく変えて幸せに転じるよう心がけ、時が経ったときに、コロナ禍がきっかけで良い事もあったと思えるように、日々を過ごしていきたいものです。

本年もよろしく願いいたします。



納品代行部

部門長 越 邦治

明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い致します。

日本中がコロナウィルスの影響で 大変な時ですが、福井県内は大雪のため交通網が機能せず大渋滞となりました。1月の3連休中は雪掻きを行い、腰を痛めてしまいました。座るのも、立つもの、寝るのも、トイレに行っても（お風呂も入れず）とにかく何をしても痛くてどうしようもなく、ただ痛みを耐えるだけでした。

やっと痛みになれたのか(?) 楽になりましたが、ずっと座って仕事をしているとやはり立つ時に痛み、治るのを待つだけとなっています。年々体力の衰えを感じている次第です。

皆様も体調には十分気を付けてお過ごしください。（もう雪は降らないで欲しいです!）



総務・経理部

吉川 佳代

あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

年末年始は騒いでいるほど雪が降らなくて良かったな～と思っていたら、どーんと雪が降りましたね。みるみるうちに雪が積もって何だか怖かったです。

連休が終わったら学校の送り迎えか～と憂鬱になっていたら学校からのメール。

良かった～と思う反面「えっ？また休み(・・?)」

こんなに学校が休みでも大丈夫？

早く学校がはじまって欲しいと思います。

お昼ご飯の用意でアップアップしている母でした (^ ω ^)・・・。



事務局

水谷 有基